

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表：平成30年7月26日

事業所名 総合療育センター 西部分所 きらきら通園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		子どもの動線や個性に配慮した室内の配置を心掛けるとともに必要なスペースの確保を図るよう努めた	・環境設定の工夫の継続 ・クラス間の動きの調整
	②	職員の配置数は適切であるか	○		常勤の看護師が医療的ケア児のフォロー及び衛生面での配慮を継続している	クラス間での協力体制の見直し
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・バリアフリー化 ・スイッチ類は床上150cmの位置に取り付け、活動に集中できるように配慮されている ・クラス名のイラストの掲示	車椅子のままで利用できる洗面所が少ないが、順番に利用し易いように配慮する
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・自立の妨げになる刺激をできるだけコントロールし、活動に集中できるような環境を整えた ・吊り遊具のある部屋にはマットを敷き、安全面配慮 ・玩具や環境設備の消毒 ・感染症発生時のメール配信	可能な範囲で予測される感染症予防対策を継続する
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・分担業務をマニュアル化 ・年度毎、計画→実施→見直しを行い、マニュアルの修正	より良い支援を継続させていけるようPDCAサイクルを継続する
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者等向け評価表による調査項目に独自の項目を追加して実施、また説明を行った	評価表の結果をもとに検討課題を整理して、運営に活かしていく
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		当所が独自で実施するアンケート調査に、事業所向け自己評価表や保護者向けの自己評価表の要素を組み入れて実施した	今後、ホームページに掲載予定
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	/	当所全体の課題として、今後検討

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
業務改善	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・現状、保育現場での課題を研修テーマとして所内研修を実施 ・全職員の参加する所外研修（年2回）をはじめ、計画的に外部研修へ参加	今後も継続
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者からの聞き取り、通園での評価や観察をもとに、定期的にリハビリスタッフと共にカンファレンスや必要時のミーティングを実施し、現状の確認、課題と方針の設定を踏まえた個別支援計画を立案	6か月で達成でき、より具体的な目標を提示し、保護者と共有できやすい個別支援計画にする
適切な支援の提供	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		PT、OT、ST、心理士の実施した評価結果も参考にしている	PT、OT、ST、心理の協力を得ながら、今後も継続
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		カンファレンスやミーティングにおいて設定した課題と方針を踏まえて具体的な支援内容の設定に努める	家族支援や地域支援については、職場内で学習の機会を設け、役割について検討を今後も重ねる
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		一人ひとりの個別支援計画の目標を意識して保育を行う	個別支援計画の目標の保育活動への埋め込みの方法について検討する
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		クラス単位（保育士・指導員）で活動案を立案し、PT、OT、ST、心理士と協議している	・保育士が長期的な見通しをもって保育活動を行う、そのために年間カリキュラムや月案を計画的に立案する ・リハビリスタッフの参加やリハビリスタッフとの立案については、今年度より一部実施
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・以前より行っている活動を子どもの成長に合わせてアプローチの仕方などを工夫 ・繰り返す活動においても子どもの変化を確認する	今後も、活動やこどものねらいを、保護者にもわかりやすく説明をしていく
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		低年齢の集団であるため、遊びや生活の中で個別にかかわるという前提で作成している	今後も年齢に適した遊びの提供を継続する

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
適切な支援の提供	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		新しい活動実施前にはより綿密な打ち合わせを行った	不十分な面が見られたため、次のプログラムに活かすためにも打ち合わせの持ち方を検討する
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		必要に応じて行った	不十分な面が見られたため、次のプログラムに活かすためにも打ち合わせの持ち方を検討する
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・目標の支援内容をより具体化する ・記録する中で改善点や次の支援目標につながるよう見直しを行った	今後も継続
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月以内にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行った	今後も継続
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議に児発管、管理者、担当保育士、指導員、リハビリスタッフ、看護師が適宜参加し、情報交換を行った	今後も継続
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて、児相や保健師、相談支援専門員との連携や情報交換を実施した	今後も連携機関との必要に応じた連携を図る
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて、個別支援会議を実施した	今後も継続
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		・必要に応じて、併設された診療所の当園嘱託医師と情報交換を行った ・看護師が保護者と主治医等との連絡体制について確認を行った	今後も継続
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		所属先(幼稚園、保育所、事業所)との情報交換を年1回以上(電話や見学、会議等)を実施した	情報交換に留まらず、支援会議を実施し、情報交換と具体的関わりの検討まで進めていく
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		小学校の先生による訪問、情報交換、添書を作成している	今後も継続

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・他機関に対して、学術集会や療育研修報告会の案内をしている ・サービス担当者会議に参加している	他機関の施設の機能について、情報収集に努め、利用者へのサービスにつなげていく
	㉓ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		地域の保育所との交流保育を実施した	参加対象児に限られるため、幅を広げること検討する
	㉔ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	現在は参加していない	参加の方法については要検討
	㉕ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		懇談の時間以外も、普段から子どもの日頃の様子を聞き取れるような信頼関係づくりを心がけている	今後も継続
	㉖ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		・保護者講座の実施 ・親子通園だからこそできる、その場でタイムリーなアドバイス ・家族背景に合わせた支援	今後は保護者に対しての支援について、ニーズを整理し、役割を検討する
保護者への説明責任等	㉗ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・運営規定を自由に閲覧できるように配慮を行った ・利用者負担等は文書を渡し、口頭でも説明を行った	自由に閲覧できることをインフォメーションしていく
	㉘ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個人懇談会の時間を保育時間外に設定し、保護者の意見をより汲み取れるように努めた	今後も継続
	㉙ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日常的に相談できる環境や連絡帳でのやり取りを行っている	今後も継続
	㉚ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			・クラス懇談会を実施している ・保護者のみで昼食の時間を設けている	各クラス、懇談会を実施していく予定

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
保護者への説明責任等	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・速やかな報告 ・検討経過を伝えながら、最終報告をする	迅速な返答ができるように努める
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		園だより発行	・ホームページの活用 ・クラスに月の活動内容の掲示
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		行動規範チェックリストをつけ、事業所全体で確認を実施する	今後も継続
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どもや保護者に合わせた関わり方をするよう配慮している(視覚支援など)	今後も継続
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		/	/
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・職員間にマニュアルの回覧を行うとともに常にいつでも見れる状態にした ・防犯訓練を実施	保護者への周知方法の検討
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・月1回で訓練を実施 ・年2回施設全体(併設診療所とともに)訓練を実施	今後も継続
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		看護師を中心に状況確認を実施	今後も継続
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・医師からの診断書をもとに対応 ・看護師が保護者との面談を実施	H30年度より、保護者との面談に看護師に加え、調理員も参加することを検討
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・事例集は未作成だが、毎月所内でリスクマネジメント委員会議を開き、報告を行うとともに職員全員に周知を行っている ・毎日、打ち合わせで情報の共有を行った	今後も継続
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		行動規範チェックリストをつけ、事業所全体で確認の実施を行った	今後も継続

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
非常時等の対応	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		保育活動中に、自身のひっかきの予防に手袋を使用する時には、時間帯などを保護者と確認する	個別支援計画への記載について検討する